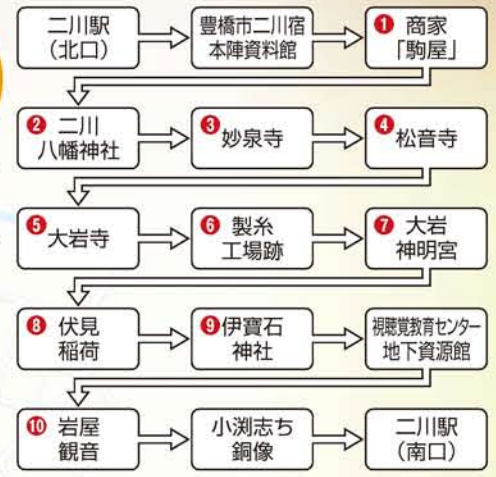


二川今昔物語

豊橋駅からJR東海道線で一駅東の、二川駅周辺を歩くこのエリアは、豊橋総合動植物公園「のんほいパーク」、豊橋市地下資源館・豊橋市視聴覚教育センターなど魅力的なスポットに加え、歴史ある史跡や寺院も多数あり、1日中楽しむことができる地域です。

モデルコース
約7km

徒歩所要時間
約2時間30分



※豊橋総合動植物公園「のんほいパーク」へは二川駅南口からが近道です。

マールの一コマ

平成23年9月に豊橋総合動植物公園「のんほいパーク」で誕生したアジアゾウの赤ちゃん「マール」のイメージキャラクター



【二川宿について】

二川宿は、東海道五十三次の33番目の宿場町で、江戸日本橋より72里余(約283km)、東の白須賀宿へ1里17町(約5.8km)、西の吉田宿へは1里20町(約6.1km)の距離でした。宿場としては小規模で、町並みの長さは東西12町26間(約1.3km)で、天保14(1843)年の「東海道宿村大概帳」によれば、加宿大岩町を含めて、人別1,468人(男721・女734合計合わず)、家数328軒のうち、本陣1軒、脇本陣1軒、旅籠屋38軒でした。現在でも2か所の「まがた」の樹形とともに当時の町割りをはば残し、本陣馬場家をはじめとして旅籠屋「清明屋」、商家「駒屋」などが、かつての宿場町の様子を今に伝えています。

豊橋市



10 岩屋観音
いわやかのん
もとは密教の聖地であり行場跡。頂上の銅製観音像までの岩歩きは、ちょっとした修行気分。

8 伏見稲荷
ふしみいなり
淡緑色の花が平安時代の公家装束を連想させることから名づけられたといわれる「御衣黄桜」が有名です。例年4月中旬に見ごろを迎えます。

9 伊寶石神社
いほいしんじや
天保15(1844)年に建立され、社殿裏の巨岩に溜まる冷水が、疣をとるのに効果があるといわれています。

7 大岩神明宮
おおいわしんめいこう
大岩村の氏神で、境内には寛延4(1751)年の灯籠をはじめ秋葉山常夜灯、手水鉢があります。

5 大岩寺
おおいわでら
もとは岩屋山麓にあり、岩屋観音に奉仕した六坊中の一つでした。岩屋観音に寄進された絵馬・黄金灯籠などの文化財を所蔵しています。

4 松音寺
しょうおんじ
康永～貞和年間(1342～50年)の創立と伝えられ、江戸時代大通行の際の宿泊所、本陣休泊者の避難所に指定されていました。

11 苗畑古窯址群
なえばたこやうしぐん
平安時代に生産された「灰釉陶器」の窯跡群。のんほいパーク内の地中に一部が保存されています。

豊橋市自然史博物館
豊橋総合動植物公園「のんほいパーク」

6 製糸工場の跡
せいしこうじょうあと
二川地区は明治～大正にかけて製糸産業が盛んで、特に小淵志ちが手がけた玉糸製糸は、豊橋の製糸産業を一躍全国のトップレベルへと導きました。

小淵志ち像※像は岩屋緑地内

1 商家「駒屋」
しょうかこまや
(豊橋市指定有形文化財)
江戸時代後期の建物で、建築当初の商家の形式を残しています。

江戸時代からあるこの小路は、「駒屋」付近から松音寺へ向かう参詣道で「瀬古道」といいます。また、道沿いには火の神である秋葉山信仰にもとづく火防の祠などがあります。

2 二川八幡神社
ふたかわはちまんじんじや
二川村の氏神で、境内には二川宿の人々の寄進による灯籠2対が残り、二川宿新橋町の街道枡形南にあった文化6(1809)年建立の秋葉山常夜灯が移されています。

3 妙泉寺
みょうせんじ
境内には寛政10(1798)年に建立され、明治12(1879)年に隣の十王院から移された芭蕉句碑「芭蕉翁あちさみや敷を小庭の別座敷」があります。

神社
 寺院
 公園
 学校
 病院

0 200m